

児童労働反対世界デー 映画上映会&シンポジウム2011
「ファッションで世界を変える～危険・有害労働から子どもを守るために」

「児童労働を予防する企業の取り組み」



フットプリントを追跡する製品を選択

[その他のパタゴニア製品が環境に与える影響について](#)

お問い合わせ先：フリーコール0088-252-252、またはパタゴニア・カスタマーサービス | © 2010 Patagonia, Inc

patagonia

patagonia®

アパレル産業としてのパタゴニア社

- 本社：カリフォルニア州ベンチュラ
- 年商約4億ドル（非公開企業）
- アウトドアスポーツやトラベル用のウェア、さらにそれらに関連する用具、カジュアルウェアなどをデザイン、開発し、アメリカ、ヨーロッパ、日本をはじめ世界各地で販売
- ミッションステートメント： 最高の製品を作り、環境に与える不必要な悪影響を最小限に抑える。そして、ビジネスを手段として環境危機に警鐘を鳴らし、解決に向けて実行する
- 環境に配慮した素材： オーガニックコットン、リサイクル・ポリエステル、リサイクル可能なポリエステル、ヘンプなど
- 環境保護活動：今までに約4,000万ドル（約40億円）相当を草の根の環境保護団体に寄付
- 従業員数：1200人。価値観を共有し、質を重視し、環境問題や地域社会での活動に積極的に取り組んでいる。
- 工場は所有していない： 大多数のアパレル企業同様、製造工場は所有していない。行っているのは、製品のデザイン、テスト、市場への投入および販売。
- インティグリティ（誠実さ）と環境保護主義というパタゴニアの価値観を共有する工場とのビジネスを目指している。

「責任あるビジネスを営むこと」とは：

パタゴニア製品が対象とする、クライミング、サーフィン、スキー、フライフィッシング、トレイルランニングといったアウトドアスポーツが必要としているのは健全な自然環境です。

自然環境は、地域社会が健全で、さらにその市民が自由や幸福といった権利を獲得している場合にのみ、持続させることが可能です。

アパレル産業で責任あるビジネスを営もうとする私たちにとって、人権や個人の健康、あるいは安全性の促進や保護といったものへの誓約は不可欠です。

人が環境を保護することに対して、より前向きな感覚を持つことができるのは、その人の基本的な必要性が満たされているときであると、私たちは認識しています。

ミッションステートメントは、私たちのあらゆる行動の指針であり、サプライヤーの自社の従業員に対する待遇、あるいは従業員が生活し、事業活動の拠点としている地域社会への対応に対する私たちの期待も含まれています。

責任あるビジネスへの道のりその1

- 1990年： **契約業者の評価プロセスの整備に着手**。ビジネスの成長にともない、契約工場を検証する必要性を認識。工場契約担当マネージャーと品質管理チームが、訪問先工場で製品の品質および労働環境の評価をスタート。**訪問できない工場とは契約を結ばないことを決定**。
- 1991年： **「第1回サプライヤー会議」**を取引関係にあるすべての工場から代表者を招いて実施。**「契約業者との関係に関する評価」とする報告書を公表**。
- 1990年代半ば： **新規契約候補の工場を訪問／評価する外部スタッフを採用し、独立監査人と契約**。
- 1996年： パタゴニアの従業員2名が当時のクリントン大統領主導の**「No Sweat Initiative（労働搾取工場撲滅イニシアティブ）」**に招聘され、同時に、第三者機関の**公正労働協会（FLA）に創設メンバーとして参加**。
- 1990年代終わり頃： より低コストで調達可能な新規の工場数社から製品を調達を開始し、契約工場の数が急増。その中のいくつかは、他の工場と下請け契約をしており、**多くの契約工場での労働環境を把握できない状態**。結果、しばらくのあいだFLAから脱会。
- 2002年： **ソーシャル・レスポンシビリティ・マネージャーを採用**。サプライチェーン全体を通じたソーシャル・コンプライアンスを監視しながらFLAと共同で労働環境の改善を目指す。

責任あるビジネスへの道のりその2

●2007年： 社会監査や指導、能力開発を行う国際的非営利団体<Verite>に依頼し、業務上契約工場を訪問する機会のある75名の従業員に対して研修を実施。パタゴニアの職場行動規範への理解を深めるため年に1度実施。

裁断／縫製を行う8工場のうち3工場がFLAの会員として、パタゴニアが満たさねばならない同じ水準で操業。

●2007年～： すべての下請業者を確認し、縫製／裁断サプライチェーンにある工場100%に対して監査を実施。

●2010年： さらに質の高い業務を目指すため、ソーシャル・レスポンシビリティ・マネージャーをソーシャル／エンバイロメンタル・レスポンシビリティ(SER)・ディレクターに昇格。SERチームは品質管理チームと同様、新工場との取引に対する拒否権を有してる。

●2011年： 原材料のサプライヤーの監査を開始する予定。取引する裁断／縫製工場の数109から55に削減。

●今後： 衣料品業界で働く従業員の賃金改善を業界内に働きかける。裁断／縫製工場に対するさらに堅固な環境監査の導入

強制労働 強制労働は、それが刑務作業であろうとあるいは契約労働や債務労働などのような理由であろうと、行使されるべきではありません。

児童労働 いかなる場合でも雇用年齢が15歳を下回ってはなりません。あるいは、工場のある国における義務教育の終了年齢が15歳以上の場合は、その終了年齢以下の者の雇用は認められません。

ハラスメント、虐待、暴力 すべての従業員は敬意と威厳の下に取り扱われなければなりません。従業員が身体的や性的、あるいは心理的や言語的なハラスメントや虐待を受けるべきではありません。

無差別 雇用において、性、人種、宗教、年齢、障害、性的指向、国籍、政治的見解、結婚歴、社会的出身、または種族的出身を理由に就職、給与、福利厚生、昇進、懲戒、解雇あるいは退職における差別待遇を受けるべきではありません。

健康と安全 雇用主は、業務上あるいは操業や雇用設備に起因した事故や傷害を防止する、安全で健全な仕事環境を提供しなければなりません。さらに事故や傷害の防止を促進し、従業員の健康を守るように策定された会社方針やシステム、研修などを通じて健康と安全の確保に主体的に取り組まなくてはなりません。

結社および集団交渉の自由 従業員はみずからの選択で自由に組織に加入することができます。雇用主は、結社および集団交渉の自由に対する従業員の権利を理解し、尊重しなければなりません。

賃金および福利厚生 雇用主は賃金が従業員にとって根本的な必要性を満たすために不可欠なものであるということを理解しなくてはなりません。さらに少なくとも現地の法律で要求された最低賃金を従業員に支払い、国の法律によって義務付けられた福利厚生を提供しなければなりません。

勤務時間 特別な経営状況の場合を除いて、従業員は週60時間、あるいは製造国の法律に定められた法定労働時間および時間外勤務の上限のいずれか少ない時間以上に労働を要求されないものとします。また、従業員は少なくとも7日間毎に1日の休日を取る権利を付与されなければなりません。

時間外労働の報酬 従業員は時間外労働に対しては、所定勤務時間の賃金に加えて工場所在国の法律に定められた割増し賃金の支払いがなされなくてはなりません。また時間外労働に関する法律を有しない国においては、少なくとも通常の時間給と同等額の報酬が支払われなくてはなりません。

女性、障害者の権利 すべての雇用主は、従業員が女性や障害者であっても、すべての雇用側面において平等な待遇を受けられることを保証しなければなりません。

環境 工場は環境方針および規程を文書化し、適用されるすべての環境関連法および規則に従わなければなりません。また生産工程に関連した放出物、排出物、および廃棄物の処理を含む生産工程を継続的に監視し、環境に与える不必要な悪影響を最小限に抑えるよう、先進的な姿勢で取り組まなくてはなりません。

品質 品質は十分に統一された優れたシステムや良いコミュニケーション、あるいは透明性といったものの結果として生じます。これらを達成するために、工場は明確に文書化された品質システムと品質改善計画を策定しなければなりません。この品質システムには、パタゴニアの品質基準に適合する製造過程の製品および完成品の検査と手順が含まれていなければなりません。これらの検査は、必要な自律性と信頼性をもって発送される完成品のすべての品質に対して偏見のないレポートを提供することのできる工場における、熟練した品質管理者によって実施されなければなりません。

下請け パタゴニアはいかなる状況においても、承認なしに下請け契約することを許可していません。すべての営業担当者用サンプル、および大量生産に関する注文は、例外なくすべてパタゴニアによって承認された施設内で発注管理されなければなりません。

この環境行動規範における基準は、徹底したパタゴニアのベンチマークを基本として定めています。これらのベンチマークは、それぞれ

Q)パタゴニアの製品の製造には児童労働がなされていますか？

A)パタゴニアの職場行動規範は、各工場がそれぞれの国の労働法を遵守しなければならないことを明白に規定しています。また国際労働機関に基づき、パタゴニアの行動規範はいかなる製造国においても年齢が15歳を下回る者の雇用を禁じています。家計収入に貢献するために青少年の労働が奨励されている国が多くありますが、青少年を酷使から保護するために、その労働内容は規制されています。法律が存在しない、あるいは不十分な場合、パタゴニアの行動規範では過度の労働時間と劣悪な労働条件下での雇用を禁じています。パタゴニアは委託契約をする前に、児童労働を含む社会的責任について事前に工場を選別します。万が一パタゴニアの工場で児童労働が発見された場合、慎重かつ責任ある国際労働機関のガイドラインに従って対処します。

適正評価：チェックリスト：

公正な労働を推進し、工場での健全な労働条件を確保するために適正評価の手順例

新規工場の場合

- 環境／ソーシャル・レスポンシビリティ(SER)・ディレクターは資材調達、QC部門と連携し、新工場への製品発注に関与。SERディレクターは新工場との取引の完全拒否権を有す。
- SERスタッフは全新工場に対し、関連法規、労働組合の契約、パタゴニアの行動規範、より詳細な行動規範ベンチマークを実施し、スクリーニング。異なる基準が存在する場合、従業員にとって最も有利な基準を適用。
- 事前スクリーニングはSERスタッフか信頼のおける第三者監査機関が実施。そのステップには給与の分析、母国語による労働者の面接を含む十分な社会監査を実施。児童労働や強制労働、虐待、ハラスメント、差別やその他の違反問題が見つかった場合、工場との取引は行わない。

※ウェブサイト にすべての契約工場リストを公表。

透明性の高い開示「フットプリント・クロニクル」

2007年スタート。パタゴニアの企業としての行動を検証し、同時にアパレル産業で行われている習慣を正すことを目指す試みとして、サプライチェーンの環境的・社会的な取り組みやデータを写真やビデオなどを通じて紹介。

The image shows a screenshot of the Patagonia Footprint Chronicles website. The page is titled "オーガニック・コットン・ジーンズ" (Organic Cotton Jeans) and features a "フットプリント・クロニクル" (Footprint Chronicle) section. The main content area is divided into three columns: "良い点" (Good points), "悪い点" (Bad points), and "私たちの考え" (Our thoughts). The "良い点" column lists that the jeans are made of organic cotton and denim, and that the supplier is an organic cotton grower in India. The "悪い点" column notes that organic cotton is still grown using conventional methods and that recycled cotton is used, but it is still subject to environmental impacts. The "私たちの考え" column discusses the need for chemical products and energy, water, and manual labor, and mentions that Patagonia is researching ways to reduce water usage and use fewer chemical products.

Callouts from the left side of the image point to various elements on the page:

- エネルギー消費量 (Energy consumption)
- 移動距離 (Distance traveled)
- 二酸化炭素排出量 (Carbon dioxide emissions)
- 廃棄物発生量 (Waste generation)
- 水の使用量 (Water usage)

Callouts from the top and middle of the image point to the production process stages:

- デザイン (Design)
- 繊維(原料) (Fiber (raw material))
- 裁断・縫製 (Cutting and sewing)
- 染色 (Dyeing)
- プリント (Printing)
- 工場为社会監査 (Factory social audit)
- 製造工程の認証 (Manufacturing process certification)
- 配送センター (Distribution center)

Callouts from the bottom right point to the "私たちの考え" (Our thoughts) section.

At the bottom of the page, there is a footer with the text: "お問い合わせ先: フリーコール0088-252-252、またはパタゴニア・カスタマーサービス | © 2010 Patagonia, Inc." and the Patagonia logo.

<オーガニックコットン・ジーンズ>フェアトレード・プロジェクトから調達



製品を選択

深く掘り下げる

ご意見をお聞かせください

インド、アコラ地方：オーガニックコットンの栽培

オーガニックコットンの栽培



アーヴィンド・ワールドワイド社のフェアトレード・オーガニックコットン・プロジェクト

パタゴニアのオーガニック・コットン・ジーンズに使用するコットンを生産し、デニムを製織しているのが、アーヴィンド・ワールドワイド社のフェアトレード・オーガニックコットン・プロジェクトです。アーヴィンド社はインドに拠点を置く、有数のコットン織物製造会社です。このプロジェクトは持続可能な農業の普及や環境の改善、そしてフェアトレードの実践や社会的公正などを追求しています。

1/19

アコラ地方の小規模なコットン農家にとっては、高価な農薬と肥料を使う従来の栽培方法で生計を立てることは非常に困難でした。アーヴィンド社の学生は、丹念にオーガニック栽培法を教えることで農家の人びとがより良生活を営み、地域社会の経済および社会的/生態学的健康を改善できるよう取り組みました。

写真：Arvind Worldwide, Inc.



お問い合わせ先：フリーコール0088-252-252、またはパタゴニア・カスタマーサービス | © 2011 Patagonia, Inc

patagonia

patagonia®

<進行中の取り組み> 国際的な調達に関わる課題の分析



製品を選択

深く掘り下げる

ご意見をお聞かせください

深く掘り下げる

この100年間、世界はだんだんと近くなっていく一方で、ますます断片的にもなっています。パタゴニア製品は世界各国80以上の工場で製造され、さらに生地や飾り付け部分の製造業者や染色工場などパタゴニアのサプライヤーに材料や構成部品を供給する数百の企業もパタゴニアの間接的なパートナーです。

私たちは最高の材料を調達し、近くがアメリカ製の場合には、現在は高品質の製品をアメリカで採算が合うように製造できるのは最もシンプルなスタイルだけとなっています。

パタゴニアはすべての時に、製造国がどこでも、ソーシャルコストをおよぼす。けれども多くの社会的および環境的課題を起すにはどうすればいいか、と同等の手に行動を

社会的責任に対するパタゴニアの取り組みについて詳しく読む

児童労働について

持続可能性に関する考え

クオリティの定義について

進行中の取り組み

3部構成のビデオでは、社会、環境、品質といった視点から、国際的な調達に関わる課題を詳細に分析しています。

エピソード1：パタゴニアの名のもとに (15:58)



お客様はパタゴニア製品の製造に携わる人たちの公正な労働条件に対する期待を、専門家は課題や問題の概要を、そしてパタゴニアの社員は競争の激しい市場を生き抜きながらも正しい行動をとることの重要性を語ります。

エピソード2：次に起きること、成すべきことは？ (12:16)



持続可能性とは本当に存在するのでしょうか。ビジネスは持続可能性をさらに進め、「地球をよりよい形に残す」ことができるのでしょうか。専門家によるこれらの答えは思いもよらない矛盾したものでした。

エピソード3：私たちの時代におけるクオリティとは？ (13:49)



高品質の製品を悪質な工場で作ることはできるのでしょうか。社会的責任と環境への責任、そして製品の製造に関わるすべての工程を含んだ現代におけるクオリティの定義について、ビジネスの専門家にたずねました。

お問い合わせ先：フリーコール0088-252-252、またはパタゴニア・カスタマーサービス | © 2010 Patagonia, Inc

patagonia

patagonia®